

2017年度

第30回日本保健福祉学会学術集会（第二報）

The 30th Annual Meeting of Japanese Society of Human Science of Health-Social Services

1. 主旨と目的

本学術大会も30回を迎えました。この間に本学会において保健福祉に関する研究が進むとともに、内外の他学会においても成果が積み重ねられ、多くの知見がすでに保健福祉の実践に寄与しています。保健福祉に従事する者は、このような多くの知見を基礎とし、今後の実践に応用あるいは研究に活用し、対象者の健康を高めていくことが望まれます。

学術大会においては新たな知見を入手することも大切ですが、これまでの知見を振り返り、再確認することも大切だと考えています。そこで今回「健康に活かす保健福祉の知」として普段測定している血圧、普段食べている梅干、職業病のひとつでもある腰痛について取り上げてみました。血圧測定で何が分かるのか、梅干にはどのような効用があるのか、また、腰痛解消や予防にどのような方法が有効なのか、知っているようで知らない点について教育講演や特別講演を企画しました。いずれの内容も明日から対象者の健康支援に活かせるような内容になっています。

和歌山は、古代万葉人が多くの短歌を残した、風光明媚な和歌の浦や昨年開創1200年を迎え、今も人々の信仰を集めている高野山があり、自然に恵まれた癒しの地です。しかし、大都市からの交通にはめぐまれていません。そこで本学術集会は2日間に亘る企画にいたしました。初日終了後には、参加者相互の交流の場として懇親会を企画しました。紀州地酒のお店で紀州味めぐりを体験しませんか。

これらの企画が参加者にとって有意義なものとなり、今後の保健福祉の実践の場や研究活動にお役に立つことを願っています。会員の皆様、お誘いあわせの上お越しいただけますよう、事務局一同願っています。

2. テーマ：健康に活かす保健福祉の知

3. 開催日時：2017年9月30日（土）～10月1日（日）

4. 場所：和歌山県 JA ビル 〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町5-1-1

電話：073-488-5641 ファックス：073-426-5320

<http://www.wakayamaken-jabill.jp/>

【プログラム】

2017年9月30日（土）

受付 14:00

教育講演 15:30～17:45

○血圧から見えてくるもの 宮井信行 先生（和歌山県立医科大学保健看護学部 教授）

○腰痛防止に役立つ体操 浅田史成 先生（大阪労災病院 治療就労両立支援センター
主任理学療法士）

懇親会 18:00～20:00

○和歌山 JA ビル内の信濃路：〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町5-1-1

10月1日（日）

受付 9:00

一般演題発表（2会場） 9:30～12:00

総会 13:15～13:45

学術集会会長 挨拶

学会長 挨拶

特別講演 13:45～14:45

○梅干しの効用 宇都宮洋才 先生（和歌山県立医科大学中央研究機器施設 准教授）

閉会式 15:00～15:15

優秀学会発表賞授賞式

次回学術集会大会長 挨拶

一般講演の公募（予告）

第30回日本保健福祉学会学術集会の一般演題発表の募集を下記の要領で行います。

発表されますと、優秀学会発表賞の対象になりますので、皆様のご登録をお待ちしております。

応募期間 2017年5月15日～8月1日（厳守）

形式 A4版横書き1枚（後日、学会HPに掲載）

連絡先：〒641-0011 和歌山市三葛580番地

和歌山県立医科大学 保健看護学部

学術集会会長 森岡 郁晴

事務局長 川村 小千代

TEL:073-446-6700

E-mail:30hokfuk@wakayama-med.ac.jp